

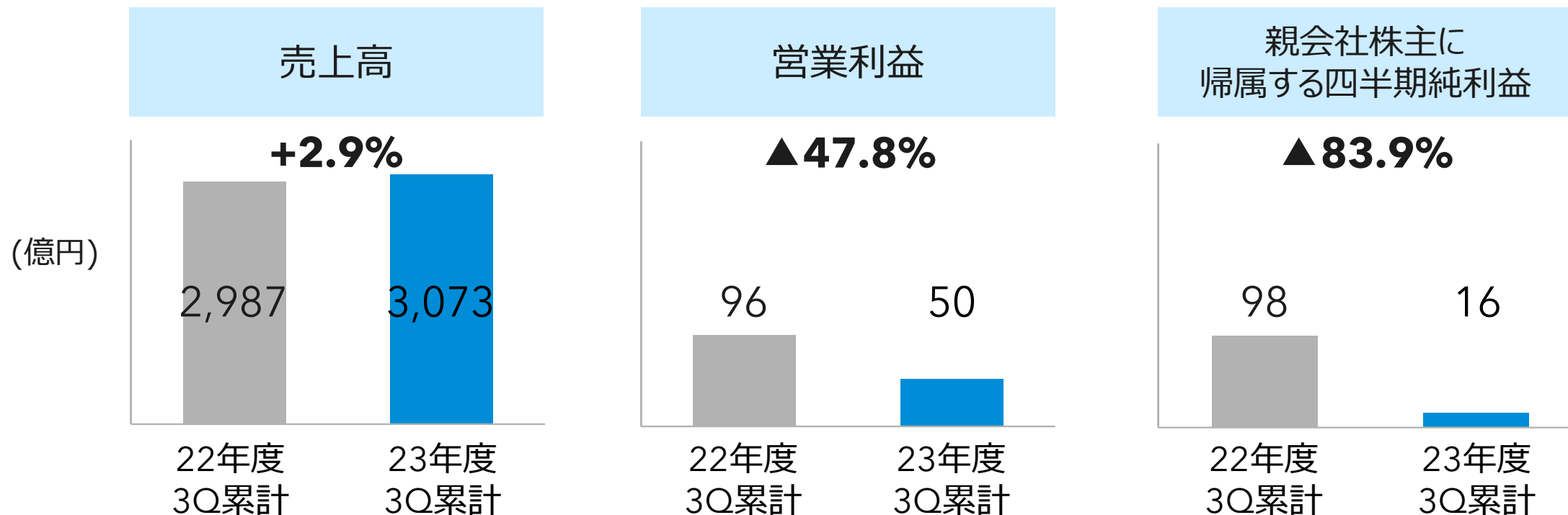
2024. 2. 8

2023年度 第3四半期 決算説明

東洋紡株式会社

第3四半期累計実績

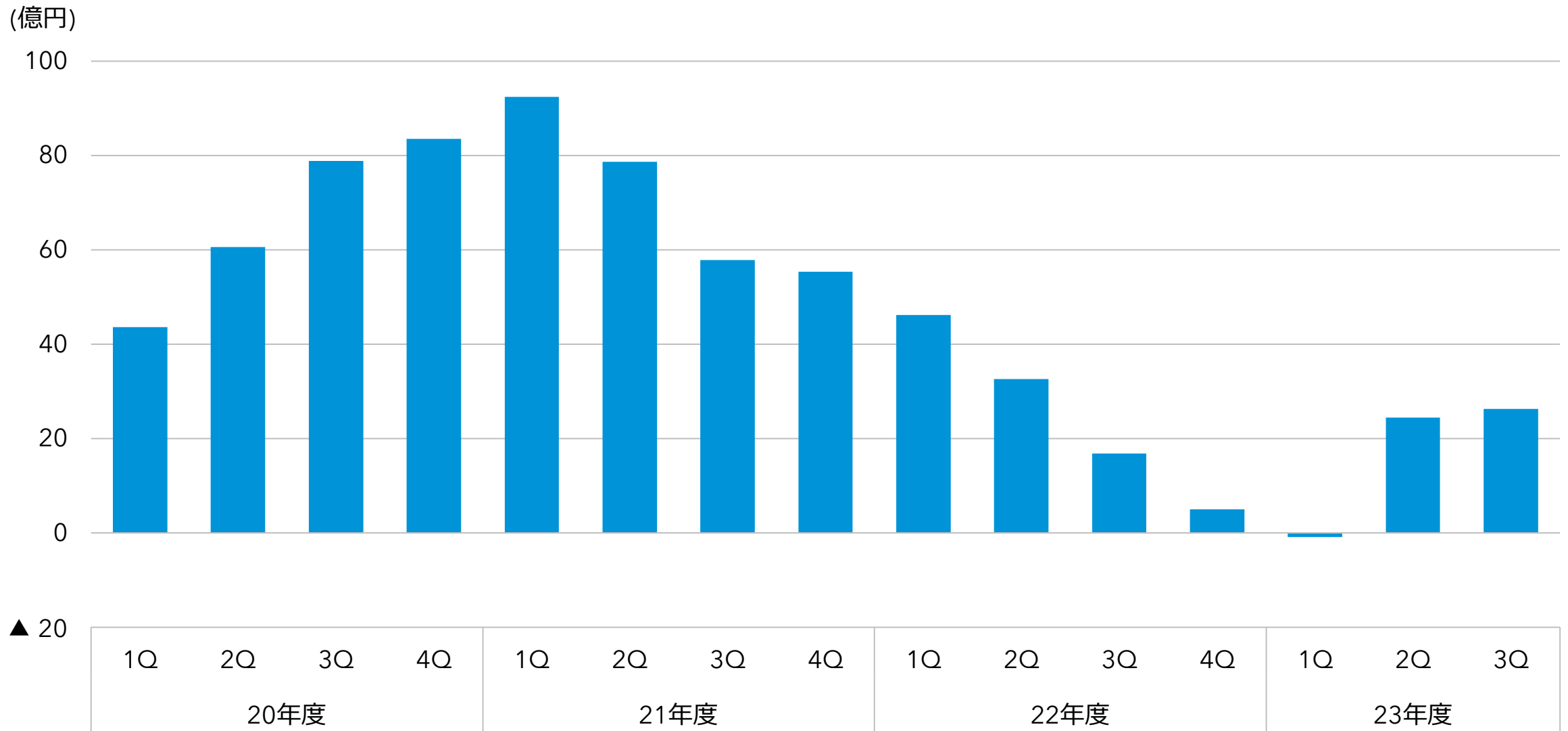
液晶偏光子保護フィルムは販売を伸ばすも、PCR検査用試薬の需要減や包装用フィルムの数量減により、増収減益。四半期純利益は16億円



2024年3月期通期予想

液晶偏光子保護フィルムの販売は堅調も、包装用フィルム等の回復遅れにより、営業利益を80億円に下方修正。当期純利益は10億円を据え置く。配当は据え置きを予定

(参考) 四半期別営業利益推移



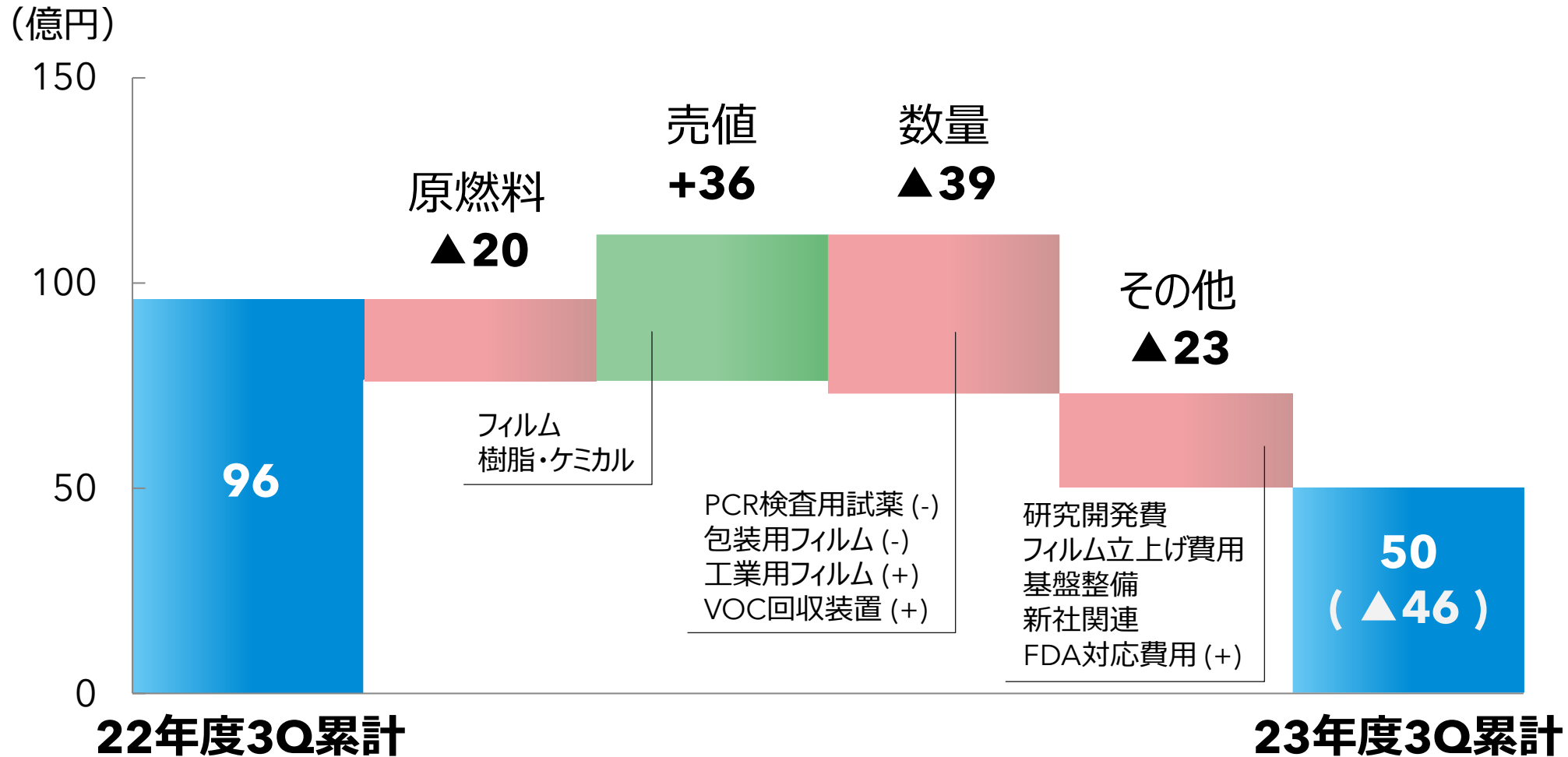
決算サマリー | PL

TOYOBO

(億円)

	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	
			金額	率
売上高	2,987	3,073	+86	+2.9%
売上総利益	653	648	▲ 5	▲ 0.8%
営業利益	96	50	▲ 46	▲ 47.8%
(率)	3.2%	1.6%	-	-
経常利益	69	24	▲ 45	▲ 65.5%
特別損益	73	12	▲ 61	▲ 83.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	16	▲ 82	▲ 83.9%
EBITDA* <small>* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)</small>	240	195	▲ 45	▲ 18.9%
EPS (円)	109.7	17.9	-	-
ROE* <small>* 年換算ベース。 (四半期純利益×4/3)÷期首・期末平均自己資本</small>	6.6%	1.1%	-	-
減価償却費	144	145	+0	+0.2%
設備投資	278	451	+174	+62.6%
研究開発費	107	118	+11	+10.0%

営業利益の増減要因



	21年度		22年度				23年度		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
為替レート (円/US\$)	114	116	130	138	141	132	137	145	148
国産ナフサ (千円/kl)	61	66	86	81	72	67	67	64	73

	(B)		(A)	(億円)
	22/3末	23/3末	23/12末	増減(A)-(B)
総資産	5,178	5,889	5,844	▲ 45
現預金	272	607	279	▲ 328
棚卸資産	960	1,219	1,250	+31
有形固定資産	2,276	2,402	2,707	+305
純資産	1,971	2,214	2,209	▲ 5
自己資本	1,949	1,896	1,890	▲ 5
うち利益剰余金	747	705	685	▲ 20
非支配株主持分	23	318	319	+0
有利子負債	1,912	2,294	2,314	+20
D/E レシオ	0.98	1.21	1.22	-
Net Debt / EBITDA倍率*	3.4	5.8	7.8	-

* (有利子負債 - 現預金) <期末> / EBITDA <年換算>

決算サマリー | セグメント別

TOYOBO

(億円)

	売上高		営業利益		
	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減
フィルム	1,100	1,174	20	15	▲ 5
ライフサイエンス	293	253	80	35	▲ 45
環境・機能材	825	862	29	30	+1
機能繊維・商事	676	689	▲ 18	▲ 15	+2
不動産・その他	94	96	17	21	+5
消去・全社	-	-	▲ 32	▲ 36	▲ 4
合計	2,987	3,073	96	50	▲ 46

(参考) 四半期別営業利益推移 (セグメント別)

(億円)

	22 年度				23 年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q*	1Q	2Q	3Q
フィルム	25	▲ 0	▲ 4	▲ 4	12	2	1
ライフサイエンス	21	33	26	12	14	10	11
環境・機能材	9	12	8	11	▲ 7	10	26
機能繊維・商事	▲ 4	▲ 7	▲ 7	▲ 7	▲ 7	▲ 1	▲ 7
不動産・その他	3	6	7	5	4	10	7
消去・全社	▲ 9	▲ 11	▲ 13	▲ 13	▲ 17	▲ 7	▲ 12
合計	46	33	17	5	▲ 1	24	26

*新セグメントでの22年度4Q実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

(億円)

	22年度			23年度			増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	743	356	1,100	781	393	1,174	+74	+6.7%
営業利益	24	▲ 4	20	14	1	15	▲ 5	▲ 25.3%
(率)	3.3%	-	1.8%	1.8%	0.2%	1.3%	-	-

包装用フィルム

- 価格改定を進めるも、需要回復の遅れによる低調な荷動きに加え、新機台の立上げ費用が続く

工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルムは、強い需要に牽引され販売を伸ばす
- セラミックコンデンサ用離型フィルムは、本格的な需要回復には至らず

(億円)

	22年度			23年度			増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	193	100	293	166	87	253	▲ 41	▲ 13.8%
営業利益	54	26	80	24	11	35	▲ 45	▲ 56.3%
(率)	28.0%	25.5%	27.2%	14.5%	12.5%	13.8%	-	-

バイオ

- 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、PCR検査用試薬が大幅に減少

メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜の販売が堅調

医薬

- FDAより Warning Letter の解除（2023年7月）を受け、収益性改善

(億円)

	22年度			23年度			増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	557	267	825	525	336	862	+37	+4.5%
営業利益	21	8	29	4	26	30	+1	+2.5%
(率)	3.8%	3.0%	3.6%	0.7%	7.8%	3.5%	-	-

樹脂・ケミカル

- エンジニアリングプラスチックは、自動車生産台数の回復により販売増
- 工業用接着剤“バイロン”は、中国向けの電子材料用途の販売が低調

環境・ファイバー

- 環境ソリューションは、LIBS*製造工程用のVOC回収装置、交換エレメントの販売が大幅増
- 高機能ファイバーは、“ザイロン”の建築補強用途、自転車タイヤ用途が低調
- 不織布マテリアルは、衛材用途や土木・建築用途の販売減に加え、原燃料価格高騰の影響あり

*リチウムイオン電池セパレータ

(億円)

	22年度			23年度			増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	453	223	676	457	232	689	+13	+1.9%
営業利益	▲ 11	▲ 7	▲ 18	▲ 9	▲ 7	▲ 15	+2	-
(率)	-	-	-	-	-	-	-	-

衣料繊維

- 不採算商材からの撤退完了と製品価格の改定が進み、収益が改善

エアバッグ用基布

- 自動車生産の回復に伴い販売量が増加、製品価格の改定が進み、赤字縮小

庄川工場における令和 6 年能登半島地震の影響について

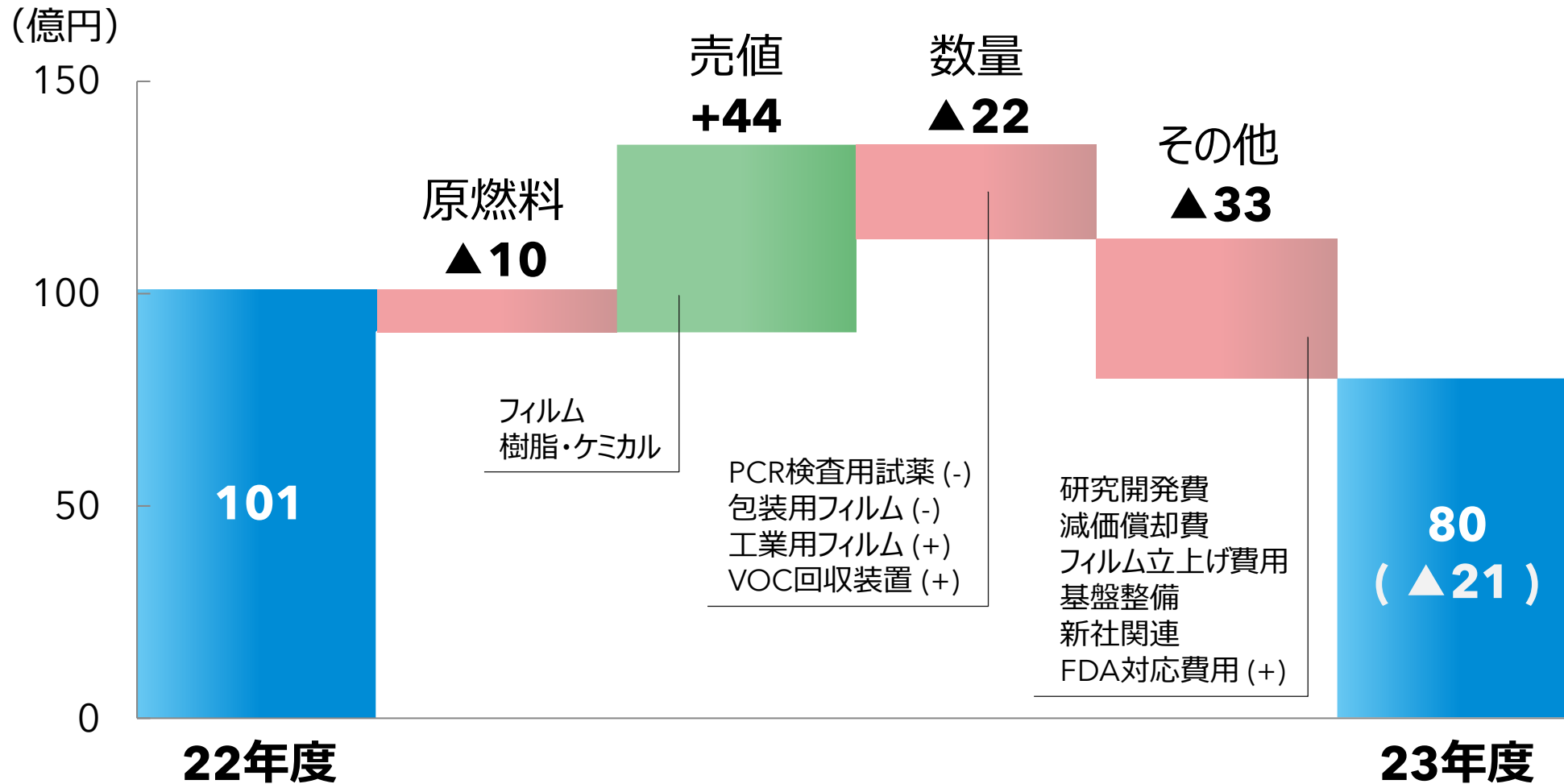
- 工場建屋および設備の一部に損傷が発生
 - ・加工部門は、1月9日から生産活動再開
 - ・織布部門、および隣接建屋で製造する一部品目の生産再開は 4 月上旬を予定

2023年度 業績見通し

液晶偏光子保護フィルムの販売は堅調も、包装用フィルム等の回復遅れにより、
営業利益を 80 億円に下方修正。当期純利益は 10 億円を据え置く。配当は据え置きを予定
(億円)

	22年度	23年度			増減		直近予想 (23/11)
	実績	上期	下期	見通し	金額	率	
売上高	3,999	1,994	2,106	4,100	+101	+2.5%	4,100
営業利益	101	24	56	80	▲ 21	▲ 20.5%	100
(率)	2.5%	1.2%	2.7%	2.0%	-	-	2.4%
経常利益	66	10	40	50	▲ 16	▲ 24.1%	60
特別損益	▲ 60	20	▲ 28	▲ 8	+52	-	▲ 14
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 7	20	▲ 10	10	+17	-	10
EBITDA	291	118	162	280	▲ 11	▲ 3.8%	300
EPS (円)	▲ 7.4	22.8	▲ 11.5	11.4	-	-	11.4
減価償却費	190	94	106	200	+10	+5.0%	200
設備投資	427	300	260	560	+133	+31.0%	560
研究開発費	141	77	83	160	+19	+13.4%	160

営業利益の増減要因



	22年度	23年度	直近予想 (23/11)
為替レート (円/US\$)	135	144	145
国産ナフサ (千円/kl)	77	69	70

セグメント別見通し

TOYOBO

(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (23/11)
	22年度 実績*	23年度 見通し	22年度 実績*	23年度 見通し	増減	
フィルム	1,461	1,550	16	30	+ 14	55
ライフサイエンス	381	340	92	45	▲ 47	47
環境・機能材	1,108	1,150	40	40	▲ 0	30
機能繊維・商事	924	930	▲ 25	▲ 12	+ 13	▲ 12
不動産・その他	126	130	22	25	+ 3	25
消去・全社	-	-	▲ 45	▲ 48	▲ 3	▲ 45
合計	3,999	4,100	101	80	▲ 21	100

*新セグメントでの22年度通期実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

補足

セグメント別情報

TOYOBO

(億円)

売上高	22年度					23年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q*	通期*	1Q	2Q	3Q
フィルム	392	352	356	361	1,461	390	391	393
ライフサイエンス	87	106	100	88	381	81	84	87
環境・機能材	279	278	267	283	1,108	250	276	336
機能繊維・商事	222	232	223	248	924	222	235	232
不動産・その他	31	33	30	32	126	28	38	30
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,010	1,001	976	1,012	3,999	971	1,024	1,079

営業利益	22年度					23年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q*	通期*	1Q	2Q	3Q
フィルム	25	▲ 0	▲ 4	▲ 4	16	12	2	1
ライフサイエンス	21	33	26	12	92	14	10	11
環境・機能材	9	12	8	11	40	▲ 7	10	26
機能繊維・商事	▲ 4	▲ 7	▲ 7	▲ 7	▲ 25	▲ 7	▲ 1	▲ 7
不動産・その他	3	6	7	5	22	4	10	7
消去・全社	▲ 9	▲ 11	▲ 13	▲ 13	▲ 45	▲ 17	▲ 7	▲ 12
合計	46	33	17	5	101	▲ 1	24	26

*新セグメントでの22年度4Qおよび通期実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

ビトリマー (“Vitrimer”)*の実用化

*再成形性・自己接着性・自己修復性などを有する高機能なポリマー。
“Vitrimer”はFONDS ESPCI PARISの登録商標です。

- ・ フレキシブルプリント基板などでの電子部品の接着用途
データ通信の高速化、自動車の電装・電動化で需要が拡大
- ・ 溶剤フリーで常温流通可能な環境配慮型の高耐熱接着シート
- ・ 2024年前半サンプル提供、製造販売開始予定



電子材料用接着シートの種類と特長

	熱硬化型接着剤	半硬化型接着シート	新開発の接着シート
タイプ	溶剤系	無溶剤系	無溶剤系
保管・輸送	冷蔵	冷蔵	常温
熱架橋処理	必要	必要	不要
樹脂垂れはみ出し	あり	ほぼなし	なし

← VOC排出量を削減

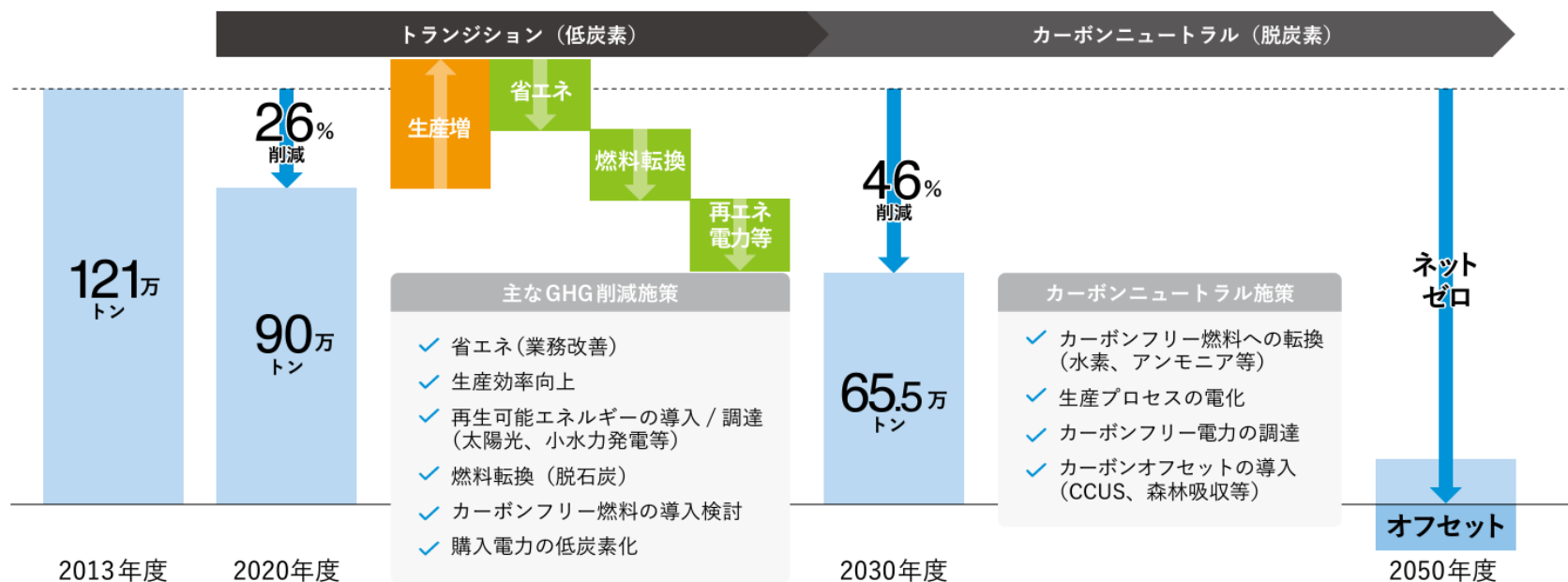
← 生産工程の短縮、省エネルギー化

2023年10月に岩国事業所の自家火力発電所をリニューアル

- 燃料を石炭から液化天然ガス（LNG）およびRPF*に転換 *RPF：古紙・廃プラスチック類を主原料とした固形燃料
- GHG排出量を、約8.0万トン/年削減見込 ← 岩国事業所の2013年度排出量の約 4 割に相当
- 2030年度までのGHG排出量削減目標の達成に向け、他の拠点においても燃料転換や再生可能エネルギー導入といった施策を推進



カーボンニュートラルへのロードマップ



本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

TOYOBO
Beyond Horizons